

せのお動物病院 伊藤健司



半導体レーザー治療に関して

①導入時期：D-LaseV20 2021年9月

②よく使用する臨床内容と医学的評価、オーナー評価

一般外科、イボの蒸散

全身麻酔をかけなくて済んだし、全然痛がらなかったのが感動したとのこと

③使用頻度：

週2-3回

④印象的な症例：

アクティブ加工したファイバーを用いて、初めて局所麻酔下でイボの切除を行った際、全く痛がらず、出血もせずに終了したこと。

⑤採算に関して

動物が高齢化していく中で、よく遭遇することとして、麻酔をかけたくないけどイボは気になるという要望は結構あると思います。

そのようなイボを診察時間中に取りっていくことや、血管のシール切断などで糸を使わなかった分コストが浮くこと、手術時間が短縮される分、別の事に時間が使えることなど、細々としたことの積み重ねで採算が取れていくと思います。

⑥今後のテーマ

ビームスプリッターと両利きバイポーラの導入

いかに診察を止めずに疼痛緩和にレーザーを利用していくかの検討

⑦他のユーザーへのコメント

はじめは電気メスに対してファイバーの手入れがやや手間だなと思っていましたが、何回か使って慣れるとあまり深く考えずに準備出来るようになります。今は逆に電気メスをほとんど使わなくなりました。

使うデバイスは大体オートクレーブ滅菌が可能なので、ガス滅菌は必要ありませんでした。

出血量や麻酔時間に気を使わなければいけない症例には大変心強いです。

病院及び Dr 紹介

病院概要：せのお動物病院

岡山県岡山市、2019年3月前院長より継承

獣医師：伊藤健司院長、福岡県北九州市出身、鳥取大学農学部獣医学科卒業

外科用機器：電メス